

抑貴邊そもそまきへんの去いヌル三月の御仏事に驚目がもくそのかづあり其数有しかば、今年こんねん一百よ人の人を山中さんちゆうにやしなひて、十二時ときの法華経をよましめ

談義して候ぞ。此こレらは末代悪世には一えんぶだい（閻浮提）第一の仏事ぶつじにてこそ候へ。いくそばくか過去の聖靈しやうりようもうれし

くをぼすらん。釈尊は孝養の人を世尊となづけ給へり。貴邊きへんあに世尊にあらずや。故大進阿闍梨こだいしんの事なげかしく候へども、

此こレ又法華経の流布しゆつたひの出来しゆつたひすべきいんえん（因縁）にてや候らん、とをぼしめすべし。事々ことごと命ながらへば其時す申べし。

（弘安二年八月十七日）